



神奈川畜産情報

発行所
神奈川県畜産会
横浜市磯子区西町14-3
畜産センター内
電話 045 (761) 4191
FAX 045 (759) 1162
発行人
長嶋喜満

神奈川県畜産会のホームページ

「かながわ畜産ひろば」[\[http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm\]](http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm)

隔月1回（1日）発行

〔神奈川畜産情報（平成18年1月号以降）はホームページでもご覧になれます〕

発生!! 岐阜県で豚コレラ 中国でアフリカ豚コレラ

平成三十年九月三日、岐阜県は、岐阜市の養豚場から飼養豚が死亡しているとの通報を受け、検査を実施し、その時点では、豚コレラが否定されたことから経過観察としていました。しかしながら、九月七日、当該養豚場の異常が収まらないことから、岐阜県が改めて検査を実施したところ、豚コレラを否定できない結果が得られました。そこで、九月八日、再度、岐阜県における病性鑑定及び農研機構農業・食品産業技術総合

研究機構動物衛生研究部門で検査を実施した結果、遺伝子解析において豚コレラウイルス特有の抗原が確認され豚コレラの患畜と判定されました。一方、平成三十年八月三日、中国遼寧省瀋陽市瀋北新区の養豚場において、アジアで初めてアフリカ豚コレラの発生が確認されました。今般の発生原因は明確にされておらず、中国政府は緊急的に防疫対策を講じているものの、現在も中国国内で続発しています。

神奈川の誉れ

『葉山桜』

葉山町上山口で肉用牛経営を営む石井廣さん（写真2）。

石井牧場では二十五年前の先代の時から自家産牛の収益性の高さに目を付け四（五頭の繁殖和牛を飼養しはじめ、良血牛の作出に心血を注いできました。

ここ数年の肥育素牛の高騰もあり繁殖部門を拡大し頭数は経営全体の三割を占めています。

そんな折、一昨年の五月に日本の和牛改良の先端を走る「徳重和牛人工授精所」の徳重社長が石井牧場の噂を聞きつけ来場、まだ六か月にも満たない和牛子



写真1 葉山桜

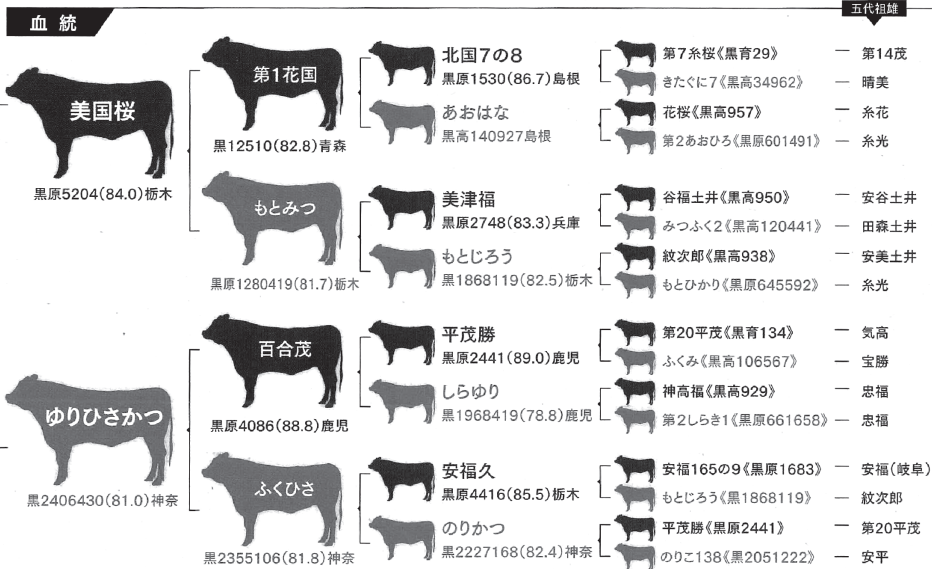


写真2 石井廣さんと母牛

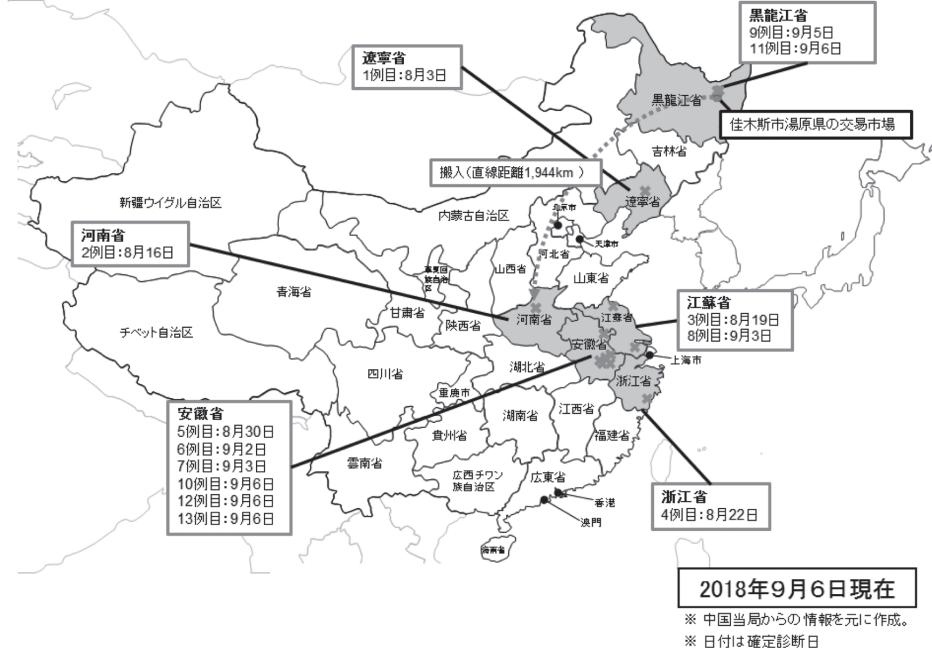
牛を見つけ惚れ込み、将来の日本の和牛を支える種雄牛候補として鹿児島に連れ帰りました。

その後、名号「葉山桜」は昨年六月の種畜検査を受けて晴れて種雄牛としてデビュー。写真（1）の通り、その後、母牛、祖母、曾祖母と続くファミリーのさらなる発展を祈りたいと思います。

葉山桜系統図



中国におけるアフリカ豚コレラの発生状況



平成 30 年度 神奈川の畜産フェスティバル&かながわ畜産フードコレクション 2018

	家畜に親しむつどい			かながわ トントンまつり	かながわ畜産フード コレクション2018	かながわミルク フェスティバル2018
	畜産フェスティバル	施設公開	ミルクメッセ			
開催 日時	10月28日（日）10時～15時			11月11日(日) 10時～15時	11月18日(日) 10時～15時30分	
場所	畜産技術センター 県央家畜保健衛生所			湘南台公園・公民館	横浜赤レンガ倉庫 イベント広場B	
主催	畜産振興会	畜産技術センター 県央家畜保健衛生所	牛乳普及協会	養豚協会・畜産振興会 畜産会	かながわ畜産ブランド推進協議会	かながわ酪農活性化対策委員会 畜産振興会
主な 内容	牛乳ソムリエクイズ かながわ産牛焼肉の販売 かながわ鶏の焼き鳥試食配布 チャリティ豚汁配布 豚肉・加工品の販売 チャリティたまごくじ 養蜂展示と蜂蜜販売	牛の乳しぼり・エサやり体験 ヒナとのふれあい 子豚と遊ぶ 畜産ウルトラミニクイズ タマゴの中をのぞいてみよう 顕微鏡をのぞいてみよう	牛乳パック工作教室 牛乳クイズラリー ジェラートの販売 骨密度測定コーナー 牛乳・乳製品の販売	子ぶたとのふれあい ポニーの試乗 豚のハガキ絵コンクール ポークチョップ販売 豚肉・加工品の販売 ヨートンクイズ	かながわの畜産フード (焼肉、ハム、ソーセージ、ジェラート、はちみつなど) 家畜の展示 県の畜産パネル展示 ステージイベント	乳牛の展示 模擬搾乳体験コーナー 乳製品の販売 県産牛乳試飲配布 ふわふわ干草体験

（国内で口蹄疫等の家畜伝染病が発生した場合は、イベントは中止しますので予めご了承ください。）

ATP 検査で 搾乳器具の キレイを確認

ATP 検査？

昔、学校で習った記憶があるかと思いますが、ATP とは「アデノシン 3 リン酸」、微生物や有機物などに共通して存在するので、汚れの度合いを測るのに最適です。

今回の検査は ATP が搾乳器具に付着しているかどうかを測定します。付着しているということはそこに微生物や有機物が存在していることを示します。そしてその量の大小で搾乳器具がきれいに洗浄されているかどうかが判断できます。方法は専用の綿棒で搾乳器具をふき取り、測定機械にかけて、10 秒程度待つだけ（図 1）。

ATP が残存していると発光し、その発光量を測

定します。

結果は数値化（単位は RLU）され酪農家の目の前で器具の洗浄状態がわかります。

食品現場において、ステンレスなどの表面が平滑なもの（包丁、鍋など）は、200 RLU 以下、樹脂などの凹凸のあるものや傷つきやすいもの（まな板、冷蔵庫内部など）は

500 RLU 以下で、洗浄できているかどうかの基準値が設定されています。

また、作業前の業者の手洗いが十分に行われているかどうかは 1500 RLU 以下が基準値です。畜産では、今のところ基準値は設定されていません。このため、食品現場における数値を目安にしました。

検査コストは測定機械本体が約 10 万円、ランニングコストは 1 サンプル当たり 200 円程度です。

検査対象器具

測定する搾乳器具は生乳が直接接触するライナー、クロー、レシーバージャー、バルククーラータンクと哺乳用バケツ（哺乳ビン）。

ライナー、クローについてはパイプラインミルク用とバケツミルク用の両方としました。

検査結果

平成 28 年秋から平成 30 年春にかけて延べ 42 戸の検査を行いました（表 1）。

パイプラインミルクの各部品については食品現場と比較して低い測定結果であり、洗剤の使用方法、洗浄水温度が適切であれば、機械に洗浄を任せて問題はないと考えられました。一部の農場で食品現場でのステンレス表面の基準値である 200 RLU を上回っている数値が出ていたのは洗剤使用方法や洗浄水温度がマニュアル通りに行われていなかったり、分解洗浄を行っていないためでした。

対策を行った結果、各農場で数値が改善されました（図 2、3）。

今回測定した農場には、バケツミルクの出荷乳

品については農場によってばらつきが大きくなっています。パイプラインミルクの洗浄の際にバケツミルクを接続し、自動洗浄している農場は概ねきれいに洗浄されていますが、手洗

浄している農場は差が大きくなっています。これは洗浄者の手技（クセ？）によるものが大きいと考えます。

同様にバルククーラータンクを自動洗浄している農場は概ね低い数値ですが、手洗いしている農場は

200 RLU を上回っている場合があります。

哺乳用バケツ（哺乳ビン）については高い数値のものが散見されています。特に乳首内側についてはとても汚れている状態のものが多くみられました。聞き取りによると「分解洗浄はしない」、「かなり昔から使っていて交換はしたことが無い」などあまり意識されていないことが伺えました。

今回ご紹介した ATP 検査の数値は直接生乳中の細菌数や体細胞数の数値とは連動しません。従って、ATP 検査で高い数値が出て必ず低品質乳になるという訳ではありません。しかし、確実な器具洗浄をする農場は、衛生意識も高く、搾乳の衛生管理をすべきポイントを押さえ、結果的に細菌数も体細胞数も低い生乳を出荷しているのではないでしょう。現場での ATP 検査は搾乳衛生の確認や見直しにとっても有効なツールになります。興味のある人はぜひ畜産技術センター普及指導課にご相談ください。

（畜産技術センター 普及指導課 森村 裕之）

表 1 搾乳器具の ATP 検査結果（42 戸）

部位	パイプライン			バケツ			バルククーラー	哺乳バケツ	
	レシーバージャー	クロー	ライナー	缶	クロー	ライナー		バケツ	乳首
検査数	41	35	40	26	19	22	10	26	20
RLU 値	平均	72	91	56	9,373	3,318	9,116	197	17,187
	最小～最大	4～531	1～857	3～499	13～114,318	9～40,761	5～162,013	1～874	6～326,430

地方競馬の収益金は
畜産振興に役立て
られています。

川崎競馬開催日

30 年 10 月 15 日(月) ～ 10 月 19 日(金)

30 年 11 月 26 日(月) ～ 11 月 30 日(金)

30 年 12 月 17 日(月) ～ 12 月 21 日(金)



新むらすずめ

り、水を飲むことも出来ませんが、「絆」に繋がれた家畜たちの健康は如何でしょうか。北方系の乳牛達の喘ぐ姿が脳裏から離れません。猛暑が一段落した後の、熱中症後の後遺症？が心配ですね。甲子園大会は回が進むと、暑さには慣れていない筈の北方の県々（秋田県の公立高校・金足農業が勝大会としてスタート、第二次世界大戦で中断し、一九四六年（昭和二年）から再スタート、記念の一〇〇回目となりました。スポーツの出来る平和に感謝しましょう。

でメディアに登場したことがあったでしょうか。商工業やサービス業等の華々しい業界に比べて「農業」という最も基礎となる食料生産が国民に疎まれていませんか？お金さえあればいつでも食べられる。いつでも食料は有ると思われているのが大勢を占めている事でしょう。米国のトランプ大統領は締結するはずの TPP 交渉を破棄して、余剰農産物の牛肉、豚肉を我が国の品質規制を無視してまで、低価格で買わせようとしています。我が国の食料生産の基盤を台無しにされてなるものか。

夏の暑さは太陽光が有るから、蒸し暑さは雨が降るから。金足農業高校の快進撃を日本農業の進撃に見立て、日本の恵まれた再生可能な光と水を活用する農業を大切に見直す好機会と捉え、猛暑の夏を乗り切りましょう。

（忠九朗）